

2018年6月吉日

報道関係者各位

ご案内

女性が輝く社会のために、14年にわたり活動を続けています  
**内閣府「平成30年度女性のチャレンジ支援賞」受賞**

NPO 法人 Fine (Fertility Information Network=ファイン) <http://j-fine.jp/>

不妊症患者をはじめ不妊で悩む人をサポートする、不妊体験者によるセルフサポートグループ「NPO 法人 Fine (ファイン)」(以降、Fine と表記)は、内閣府の「平成30年度女性のチャレンジ支援賞」を受賞、6月27日に内閣総理大臣官邸において、野田聖子内閣府特命担当大臣(男女共同参画)より表彰されました。本賞は、起業、NPO 法人での活動、地域活動等にチャレンジすることで輝いている女性及びそのようなチャレンジの支援等を積極的に行ない、男女共同参画社会の形成の促進に寄与したと認められる個人、団体・グループに贈呈されるものです。Fine は、不妊当事者が社会から孤立することなく、健全な精神を持ち続けられるように心と身体のサポートや環境改善及び啓発活動を続けてきたことが評価されました。私たちは不妊当事者の立場から、これからも活動を続けて参ります。



【集合写真。後列右より4人目が理事長・松本】



【安倍晋三総理大臣と理事長・松本】



【表彰状】

【理事長・松本亜樹子からコメント】

今回の名誉ある賞は、14年間、全国で目に見えない活動をコツコツと続けてきたメンバーの頑張りに対していただけしたことだと、大変うれしく思います。同時に、不妊や妊活を取り巻く課題は、女性が社会で活躍するにあたっての社会課題であることを、お認めいただけのことでもあると感じ、より一層解決に向けて頑張る必要があると身が引き締まる思いです。いつも Fine を応援してくださっている皆様方とメンバーに、心から感謝しています。本当にありがとうございました。

**受賞の背景**

晩婚化、晩産化が加速する日本において、5.5組に1組のカップルが不妊に悩んでいるといわれており、誰しもが不妊当事者になる可能性があります。それにも関わらず、不妊について社会の理解はまだ十分とはいえず、周りに話すことができずに孤独感を抱えてしまう当事者は少なくありません。また、健康保険の適用されない自費診療が多い不妊治療では、経済的な負担も大きな悩みです。さらに、仕事をしながら治療する人の中には、職場の理解が得られないなどの理由で退職や異動、パートなどに働き方を変えざるを得ない状況もあります。Fine が2017年に実施したアンケート(\*1)

では、当事者の9割以上が「仕事と不妊治療の両立が困難」と答えています。

Fineは、子どもを望む当事者が、社会から孤立せずに、またキャリアを断念することなく治療を続けられ、自分らしく輝き続けていられるよう、当事者の立場から幅広い世代の方に向けて14年にわたり活動を継続してきました。設立当初から不妊当事者のカウンセラーの養成に取り組み(\*2)、ひとりで悩みがちな不妊当事者の心のサポートや、アンケート調査により当事者の声を集め、『不妊白書2018』を発行するなど、広く社会に問題提起しています。さらに署名活動でも当事者の声を集め、国政や社会、企業に対してポジティブで具体的な提言をしてきました。このようなFineのさまざまな活動が評価されたと考えております。

\*1 「仕事と不妊治療の両立に関するアンケート Part2」(回答数/5,526名) プレスリリース

[http://j-fine.jp/prs/prs/fineprs\\_ryoritsu2\\_1710.pdf](http://j-fine.jp/prs/prs/fineprs_ryoritsu2_1710.pdf)

\*2 不妊ピア・カウンセラー養成講座 <http://j-fine.jp/e-pia/>

#### ■女性のチャレンジ賞等の表彰について(内閣府男女共同参画局のホームページより)

[http://www.gender.go.jp/public/commendation/women\\_challenge/c\\_hyoshou.html](http://www.gender.go.jp/public/commendation/women_challenge/c_hyoshou.html)

平成15年4月に男女共同参画会議において決定された「女性のチャレンジ支援策」において、身近なチャレンジの事例を提示するために、活躍する女性を顕彰する「女性のチャレンジ大賞」制度創設の検討が提言されたことを受け、起業、NPO法人での活動、地域活動等にチャレンジすることで輝いている女性個人、女性団体・グループ及びそのようなチャレンジを支援する団体・グループを顕彰し、チャレンジの身近なモデルを示すことによって男女共同参画社会の実現のための機運を高めることを目的として、平成16年度から実施しているものです。

#### □NPO 法人 Fine これからの活動予定(2018年6月28日現在)

・6月30日(土) 不妊治療と仕事の両立セミナーで講演 都民ホール都議会議事堂1階(東京都新宿区)

・11月25日(日) 『Fine祭り2018 知りたい!みんなの妊活』(仮称)開催予定

#### □NPO 法人 Fine これまでの活動(抜粋)

##### ◎学会・研究会への参加・発表

2009年 ESHRE(欧州生殖医学会)患者部門にてゲストスピーカーとして発表(オランダ・アムステルダム)

2012年 「第11回 iCSI(国際不妊患者団体連合)会議」を共催(京都)

2012年 「第4回 ASPIRE(アジア太平洋生殖医学会)会議」にて iCSI セッションを共催(大阪)

2013年 厚生労働省「不妊に悩む方への特定治療支援事業等のあり方に関する検討会」構成委員

2017年 厚生労働省「不妊に悩む方への特定治療支援事業に関する「意見を聴く会」」委員

2017年 厚生労働省「不妊治療と仕事の両立に係る諸問題についての総合的調査」検討委員

2018年 厚生労働省と文部科学省「ヒト受精卵へのゲノム編集技術等を用いる研究に関する合同会議」委員など

##### ◎不妊に関するさまざまな調査を実施

2010年 「不妊治療の経済的負担に関するアンケート」を実施(回答者数/1,111名)

2012年 「どうする? 教えて! 病院選びのポイントアンケート」を実施(回答者数/560名)

2012年~2013年 「不妊治療の経済的負担に関するアンケート Part2」を実施(回答者数/1,993名)

2014年~2015年 「仕事と治療の両立についてのアンケート」を実施(回答者数/2,265名)

結果はFine ウェブサイト、学会や講演会等で発表。他にもさまざまなアンケートを実施しています。

※参考: <http://j-fine.jp/activity/enquate/index.html>

~Fine 会員は約2,100名、さらに SNS も開設! 登録者約1,800名(2018年6月現在)~

NPO 法人 Fine (ファイン) <http://j-fine.jp/>

〒135-0042 東京都江東区木場 6-11-5-201 TEL 03-5665-1605 FAX 03-5665-1606

\* 常駐ではありませんので、できるだけメールにてお問い合わせいただければ幸いです

~ 当リリースについてのお問い合わせ ~

E-mail ◆ NPO 法人 Fine 広報窓口: finekouhou@j-fine.jp